

訓練生
募集!!

2021年度

本インスティテュートは、精神分析的サイコセラピーの普及と発展を目指し、関西の地において設立されました。精神分析的サイコセラピーの技能の習得に必要な、高度な専門的訓練を提供し、精神分析的臨床家コミュニティの中核的役割を担うセラピストを養成します。また、精神分析的サイコセラピストの相互交流の場を提供し、研修の機会を設け、その技能のさらなる向上を目指します。

セラピスト養成コース

正規訓練生

精神分析的サイコセラピストの質の高い専門的訓練を行っています。本コース修了により、日本精神分析学会認定精神療法医・心理療法士の認定取得の条件を満たします。認定取得を支援するだけでなく、認定取得後も、精神分析的セラピストとして活躍できる技量が身につくような訓練を提供します。

移行訓練生

すでに一定の訓練を終えている臨床家に対して、足りない部分への支援（例えば、訓練ケースの提供、スーパーバイザーの紹介、学会発表や論文投稿の支援と指導など）を行います。日本精神分析学会の精神分析的精神療法医・心理療法士の認定取得をサポートします。

コンサルタント・セラピスト養成コース

従来海外留学など以外では育ちにくかった、精神分析的サイコセラピーの指導者を養成します。後進を指導できる技能を培い、コミュニティの中核的役割を担うセラピストになるような訓練を提供します。本コース修了により、日本精神分析学会認定スーパーバイザーの認定取得の条件を満たします。

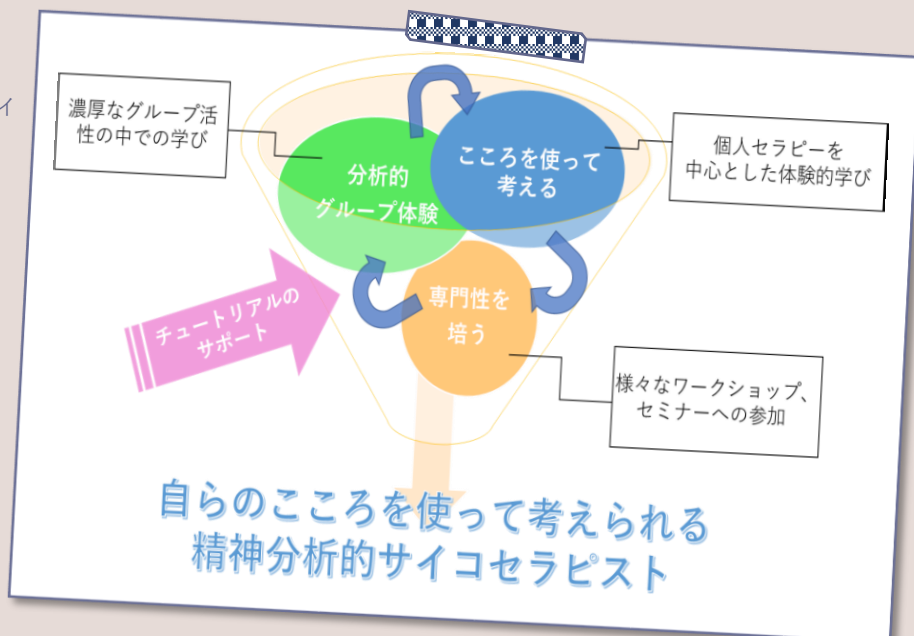
※応募資格ほか詳細はHPに掲載しています

お申し込み・お問い合わせ

精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪（IPPO）
TEL/FAX：06-7162-6985
E-mail: ippo.office2017@gmail.com
URL：http://ippo2017.com/

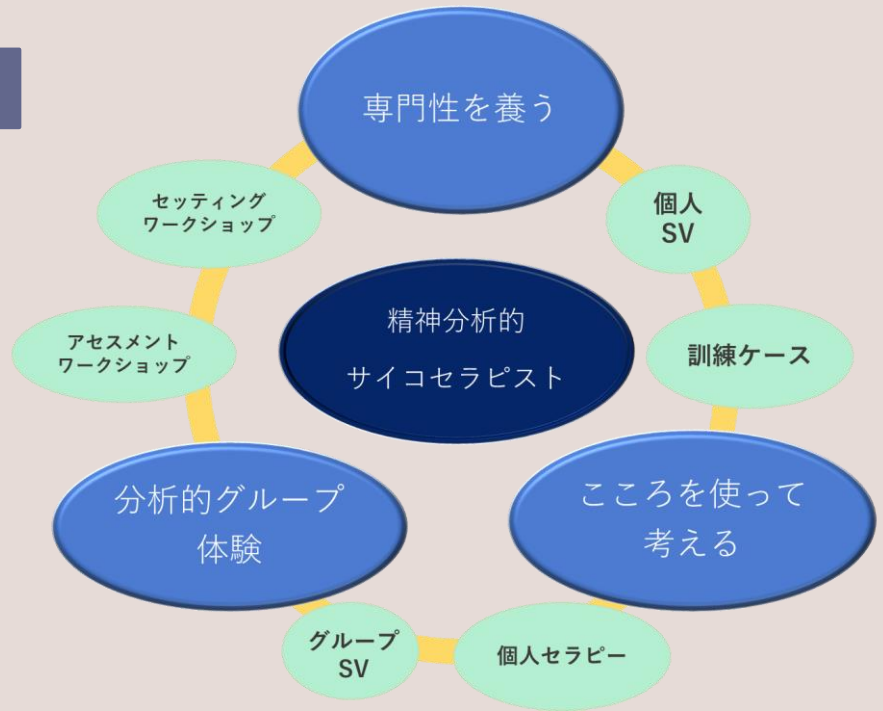
募集期間

2020年11月1日～2021年1月12日



IPPOの訓練のご案内

- ▶ 濃密で有機的な訓練の経験を通し、
こころを使って考えるセラピスト
の育成を目指します。
- ▶ アセスメント能力を培い、将来的
な開業も視野に、自律的に対応で
きる力を育てます。
- ▶ ピアグループで切磋琢磨しながら
学べます。そのプロセスを通し、
次世代が育つ互恵的好循環を生成
維持するよう努めます。



アセスメント ワークショップ

臨床ケースのアセスメントセッションを素材に、講師を中心とした小グループで、レジユメを用いず自由に討論します。3年間継続することで、アセスメントの基礎から学びます。担当ケースのアセスメントや、今後の方針を考える臨床に直結するワークショップです。

セッティング ワークショップ

セラピーのセッティング、外的設定の構築と維持、内的設定としての精神分析的態度、精神分析プロセスの評価、転移逆転移に関する臨床的理解、適切な介入など、精神分析的セラピーの実際について学び、ディスカッションします。訓練ケースを素材としたディスカッションも織り込まれ、臨床実践へとつなげます。

個人 スーパービジョン

本インスティテュート選任のスーパーバイザー（日本精神分析学会認定スーパーバイザーを基礎条件とする）による、対面・週1回のスーパービジョンを経験します。正規訓練生は、それぞれのケースを1年間以上、1例につき50回以上、合計3名のスーパーバイザーから受けることを条件とします。

グループ スーパービジョン

経験豊かなスーパーバイザーと、3～5人程度の訓練生で構成される小グループ・スーパービジョンです。訓練ケースを始めるにあたって参加が必須となりますが、ケース開始前もビジター参加が可能です。担当している臨床ケースを定期的に検討する機会となります。大阪・京都・神戸の3会場で開催されます。

チュートリアル

訓練生一人一人に本インスティテュート選任のチューターがつき、訓練期間を通じて、訓練の進捗状況、プログラム選択、学会発表と論文執筆支援、スーパーバイザーや訓練セラピストの選定など、訓練上のあらゆる相談に応じます。年数回の相談日が設けられています。

訓練ケース

週1回以上の頻度の訓練ケースを、訓練期間中に3ケース以上経験します。修了までに合計150回以上の面接回数とスーパービジョンが必須となります。訓練ケースのうち少なくとも2例は、本インスティテュートのインターカーによるインタークを経て、その後アセスメントSVを経たケースとします。将来スーパーバイザーを目指す訓練生には、週複数回のケース経験をもつことが推奨されます。

個人セラピー

個人セラピーは、精神分析的セラピストを育成する最も重要な訓練の一つであり、「精神分析的に思考すること」の根幹をなすものです。週3回の頻度で、3年間以上の継続を標準としますが、その設定が困難な場合には、週1～2回頻度で3年以上の継続が最低条件となります。すでにセラピー経験がある訓練希望者に関しては、訓練委員会によるその適合性の評価を経て免除される場合があります。

そのほか...

文献購読のリーディングセミナー、アセスメントセミナー、臨床理論講義などのプログラムがあります。また、学会発表の予演会、論文指導等のサポートを提供しています。